



横浜美術館に大規模なインスタレーション

横浜赤レンガ倉庫1号館では「横浜」をテーマに新作も
アイ・ウェイウェイ、ジョコ・アヴィアント、小沢剛ほか

ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」が、いよいよ8月4日（金）に開幕します。

横浜美術館での大規模なインスタレーションや開港の地・横浜の歴史を意識した作品、日本初紹介となる若手アーティストなど、展覧会の見どころをご紹介します。

横浜美術館に大規模なインスタレーション —アイ・ウェイウェイ、ジョコ・アヴィアント

アイ・ウェイウェイは、常に自らの置かれた社会状況に関わり、芸術概念を拡張するかのような活動を推し進めています。ヨコハマトリエンナーレ2017では、メイン会場となる横浜美術館の外壁と柱に、救命ボートと難民が実際に使用した救命胴衣を用いて、難民問題に関する大型インスタレーションを発表します。

また、館内のグランドギャラリーでは、ジョコ・アヴィアントが、注連縄(しめなわ)から発想して2000本のインドネシアの竹を独自の手法で編み上げたダイナミックな新作を展示します。インドネシアの竹は、同国では古くから家屋や日用品の素材として親しまれてきました。作品を通して、自国で失われつつある伝統文化、人間と自然の共生について考えます。(次ページに続く)



アイ・ウェイウェイ(艾未未)
《安全な通行》2016
© Ai Weiwei Studio



ジョコ・アヴィアント 横浜美術館グランドギャラリーで展示される作品のモックアップ



ジョコ・アヴィアント
《大きな木々》2015

【プレスリリースお問い合わせ先】ヨコハマトリエンナーレ2017広報事務局（株式会社プラップジャパン：桑間、横澤）
E-MAIL: pr_yokotori2017@ml.prap.co.jp TEL 03-4580-9110

【横浜トリエンナーレ組織委員会 お問い合わせ先】担当：西山、高橋
E-MAIL: press@yokohamatriennale.jp TEL 045-663-7232（平日 10:00～18:00）

横浜赤レンガ倉庫1号館で、「横浜」に関連した新作を披露

—小沢剛、クリスチャン・ヤンコフスキー—

ヨコハマトリエンナーレ2017では、日本の近代化の起点となった横浜の歴史や横浜をテーマにした作品も展示されます。横浜の歴史的遺産である横浜赤レンガ倉庫1号館では、小沢剛が、物故著名人の海外での活動に焦点を当てた「帰って来た」シリーズを新たに発表します。明治の世を駆け抜けた横浜生まれの伝説的な思想家・美術史家を蘇らせます。

また、ユーモアとペーソスに満ちた写真・彫刻・映像作品等で知られるクリスチャン・ヤンコフスキーは、オリンピックを目前にした日本の「気の流れ」を良くしようと、横浜の公共彫刻を揉みほぐそうと診断するマッサージ師の映像作品を制作します。

**日本初 本格紹介の若手アーティスト
—ザオ・ザオ、イアン・チェン—**

ザオ・ザオ(赵赵)、イアン・チェンは、日本で初めて本格的に紹介される近年活躍の著しい若手アーティストです。ザオ・ザオ(赵赵)の《プロジェクト・タクラマカン》は、作家の出身地であり、たびたび民族問題の舞台となるタクラマカン砂漠の真中に、冷蔵庫を運んで配線し、冷えたビールを飲むという行為を映像にした作品です。ユーモアと壮大なスケールで、かつてシルクロードで様々な物や人、文化が行き交った歴史や、現在の孤立した状況などについて思いを馳せます。

また、イアン・チェンは、管理され閉じられた世界での意識の芽生えをテーマにした映像作品《使者は完全なる領域にて分岐する》を展示します。プログラミングにより様々な状況がリアルタイムにシミュレーションされて映し出され、神の使いに見立てられた柴犬達が画面内で衝突と変容を繰り返し、予期せぬストーリーを紡ぎ出します。

ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」では、38組のアーティストの作品と1プロジェクトを通して、世界の「接続」と「孤立」の状況について様々な角度から考えます。



小沢剛新作制作風景



クリスチャン・ヤンコフスキー
《重量級の歴史》2013
Photographer: Szymon Rogynski Courtesy: the artist, Lisson Gallery



ザオ・ザオ(赵赵)
《プロジェクト・タクラマカン》2016 イメージ



イアン・チェン
《使者は完全なる領域にて分岐する》2015-2016
Courtesy the artist, Pilar Corrias, Standard (Oslo)